

KSKQ

# 一般社団法人 日本障害者カヌー協会 機関紙 パラマウント通信

2018/05/27  
紙面リニューアル号  
NO.74

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八日)発行

## 障害者カヌー 新拠点 Canoe base for the Challenged



### 茨城県霞ヶ浦に オープンしました!!

4月22日、茨城県土浦市にある、霞ヶ浦のヨットハーバー「ラクスマリーナ」に、障害者カヌーの新拠点がオープンし、開所式が行われました。カヌー約10艇を収容できる艇庫が新設され、2020年東京パラリンピックを目指す障害者アスリートの練習の場所だけでなく、障害者、健常者



関係なく、カヌーを体験、楽しめる場所になります。新拠点の名称は「Canoe base for the Challenged」この名称に、カヌーに初めて乗る挑戦から、パラリンピック(世界)への挑戦と、人それぞれの挑戦(チャレンジ)を応援したい。欧米で近年「障害者」を表現するのに使われる「Challenged」と言う言葉の意味(挑戦するチャンスや資格、課題を与えられた人)から障害があるからチャレンジ出来ないのでではなく、チャレンジするチャンスをここで掴んで欲しいと言う思いを込めて付けました。

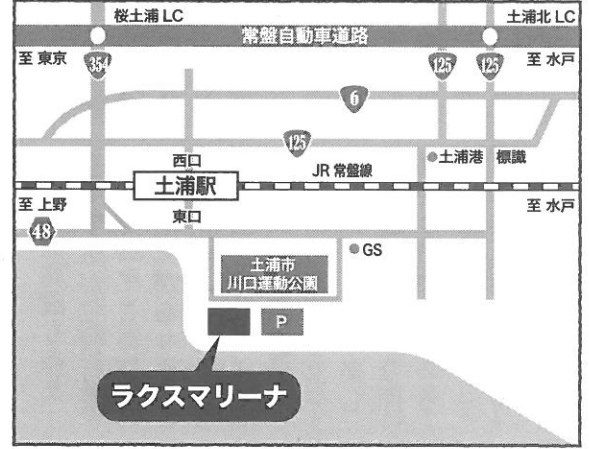


吉田会長も開所式で、「スポーツでも遊びでもあるカヌーの楽しさを、障害者、健常者という壁を取り払って広める拠点にしたい」と言っておられ、先日この場所で2級船舶免許取得にチャレンジしました。

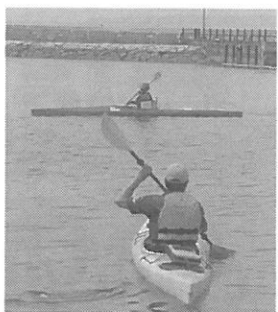
障害者カヌー新拠点 所在地  
株式会社ラクスマリーナ 〒300-0033 土浦市川口2-13-6  
TEL 029-822-2437 FAX 029-826-2839

アクセス (電車をご利用の場合)  
JR 常磐線土浦駅下車。土浦駅東口より徒歩約10分。  
東京方面からお越しの場合：上野→土浦 最速特急 39分

アクセス (お車をご利用の場合)  
常磐自動車道・土浦北 IC からお越しの場合：  
国道125号線を土浦方面へ。若松町交差点を右折し市民会館入口交差点左折し、霞ヶ浦流域下水道事務所前を右折。約300m先の天王橋を渡り1つ目の信号を左へ。(約5分)  
常磐自動車道・桜土浦 IC からお越しの場合：  
国道354号線を香取方面へ。JR常磐線陸橋を越え、次の陸橋手前を左に入り県道48号線を市街方面へ。  
土浦駅東口を越え4つ目の信号を土浦港パースに沿うように右折。(約10分)



# OSAKA



## 2日間みんなで楽しめる 大阪パラに参加しました！

2017年6月17日～18日に大阪府立青少年海洋センターで、パラマウントチャレンジカヌーin大阪が開催されました。今回はパラカヌースプリントの選手、濱田美穂さんからのレポートをお送りします。

6月17日土曜と18日日の2日間、大阪湾の入り口淡輪に位置する大阪府立青少年海洋センターで開催された第14回パラマウントチャレンジカヌーに参加してきました。参加者が多くてびっ

くり。  
実行委員の大須賀さんのジョークを交えた開会式でスタート。僕もライフジャケットをつけてシーカヤックに乗りました。やっぱり、海は解放感があっていい！

これは楽しい！近くでパドルの取り扱いをマスターしたら、みんなで堤防を越えて沖に出ることに。あれ、これって水鉄砲？なんで置いてある？とりあえず水を入れて。いざ、出陣。後方から水が撃たれた。構えて撃つ。これは楽しい。こういう遊びは最高ですね。  
乗艇場所に一度戻り、不安定なパラ艇を

初めて乗艇。足も腹筋もプルプル。バランスが。パドルの漕ぎ方を教えてもらい。なんとか前進。軽く水面を進みます。  
速さの理由がデザインにあるようです

みなで沖に出て1kmくらいにある緑と赤が左右に並ぶ右左舷標識の灯浮標まで。  
この標識の意味は船の航路を示すもの。大型漁船が港に向かってくると波が来るのでは、と心配でした。漁船が来ましたが複数のカヌーがいるのを見てスピードを落としてくれたので



大阪パラ参加  
パラカヌースプリント選手  
濱田 美穂



安心。なにせ、団体行動しているから心強い。陸をみると目立つ建物。特徴がありま。近づく、巨大で実物大の戦艦の大きさの建物が目に入ります。大阪府立青少年海洋センターを調べると昭和50年に設立された施設の様です。デザイナーは、ただものではないのでは？調べる、なんと、世界の現代建築

家、西沢文隆氏が設計。施設のある淡輪は、大阪湾の出入り口、紀淡海峡近くにあります。古くは「和泉の国」と呼ばれた地域でもあり文明発展に関連した歴史のある地域のようなです。建築に西沢氏がデザインした理由もわかる気がします。この施設、ヨット、カヌーなどマリンスポーツを楽しむだけでなく、体育

館、宿泊施設もあり、小中学生が学校行事をしていてこの期間中は活気がありました。トイレやシャワー室もバリアフリーでもあり、老若男女、障害のある人もバリアフリー。みんなで楽しめる施設で広大な面積で1日中楽しめる場所です。  
来年ももちろん時間があれば参加したいと思います。

# NARA

2017年9月9日〜10日奈良県のカルディアキャンプ場でパラマウントチャレンジカヌーin奈良(以下奈良パラ)が開催されました。今回は初参加の関西大学の学生さん、川内春佳さんからのリポートをお送りします。



## 奈良パラとの出会い

— 人との繋がりとアウトドアの素晴らしさ —



関西大学の川内春佳です。私は今回、奈良パラのボランティアスタッフとして初参加しました。大学では障害者スポーツ施設でアルバイトをしながら、NPO法人のボランティアで知的障害者の方に水泳を指導しています。趣味は登山とトレイルランニングで、自然と触れ合うスポーツに関心があります。



奈良パラボランティア  
川内 春佳



なぜ、奈良パラに参加したかという障害者スポーツに興味があり、参加したいと思っただけです。また、カヌーというスポーツはどのような競技なのかを知りたいと思い、参加しました。私は参加する前に「奈良パラって何の略語？」と疑問に思ったので調べてみました。パラマウントチャレンジカヌーは障害者カヌーのこと、パラマウントとは、「最高の」という意味であることがわかりました。

楽しむにしていた奈良パラの日がやってきました。前日から準備をし、前夜祭に参加しました。前夜祭では、子どもから大人まで楽しみ、ライブやバーベキュー、キャンプを満喫することができました。当日は、視覚障害の方のサポートをさせて

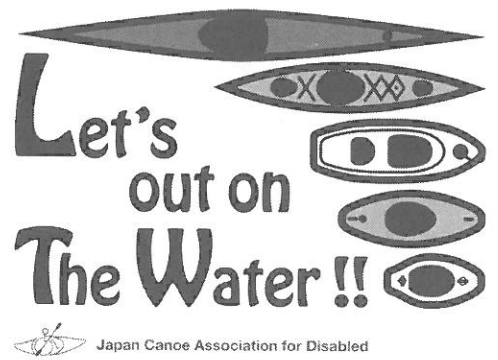
いただきました。アルバイト先で視覚障害の方と話す機会があるのですが、サポートするのは今回が初めてでした。声をかけるタイミングやどのように伝えたいのか、とても悩みました。しかし、お互いの趣味などの話で盛り上がり、不安だった気持ちが一気になくなり、一緒にカヌーに乗り、楽しむことができました。一人でカヌーに乗る機会もあり、カヌーの基本を教えていただきました。私は、川から見た景色と進みたい場所に向かって頭を使っているというカヌーの楽しさに魅力を感じました。そして、視覚障害の方ほど感じることができるのだと思う、少しカヌーの上で目を瞑ってみました。川の流れる音、奈良パラのみなさんの声、パドルで水を漕ぐ音、鳥のさえずりなど耳でその場の雰囲気や景色を見ました。私はカヌーから目と耳、そして心から自然の素晴らしさを存分に感じることができました。

視覚障害の方ほど感じることができるのだと思う、少しカヌーの上で目を瞑ってみました。川の流れる音、奈良パラのみなさんの声、パドルで水を漕ぐ音、鳥のさえずりなど耳でその場の雰囲気や景色を見ました。私はカヌーから目と耳、そして心から自然の素晴らしさを存分に感じることができました。

今回の奈良パラで多くの障害者の方と関わり、大自然と触れ合うことができ貴重な経験になりました。私は障害者、健常者、介助者という関係ではなく、全員がひとつとなつて自然と触れ合い、挑戦するというパラマウントチャレンジカヌーに魅力を感じました。そして、自身の思いや感じたことなどを人に伝え、共感し合うことの素晴らしさを大切にしていこうと思えました。私は、もうすぐ社会人になりますが来年以降も参加し、そして若い世代のボランティアを増やしたいなと思いました。みなさん、本当にありがとうございました。人に感謝しています。



いつも、日本障害者カヌー協会（以下協会）を支援して頂き、ありがとうございます。今回、諸般の事情により機関紙の発行が予定より遅くなり、会員の皆様には、会費の更新手続きのお願いが遅れ申し訳ございませんでした。8ページにも記載させて頂いておりますが、毎年4月は会員資格の更新月になっております。以前は機関紙と一緒に更新の払い込み用紙を送付しておりましたが、今回からは払い込み用紙を送付する事が出来なくなりました。お手数をおかけいたしますが8ページ記載の振り込み先に、更新会費2000円の振り込みをお願いいたします。新規入会希望の方は、入会金がございますので、年会費2000円と、協会ホームページから入会申込書をダウンロードして



事務局ニュース Vol.02

頂き必要事項を記入頂き、協会事務局宛で郵送をお願いいたします。あと例年であれば、2月に総会を開催しておりましたが一般社団法人になり、今年は6月に社員総会を予定しております。会員の皆様には、ホームページ、SNS、機関紙での報告になりますが、詳細をお伝えさせて頂きます。

協会が一般社団法人としてスタートして1年が経過致しました。全国各地での障害者カヌーの普及や、パラカヌーの広報までの基盤である財務的な側面は、皆さまの会費によって支えて頂いております。是非とも今年度も協会会員として継続をお願いいたします。

パラマウント通信も9年振りのリニューアルを致しました。事務局ニュースでは、昨年12月から、今年の3月に行われた活動、大会情報をお伝えさせて頂きます。



2017  
12/2

パラカヌー体験教室  
in ひょうご

兵庫県西播磨総合リハビリテーションセンターで「パラカヌー体験教室 in ひょうご」が開催されました。主催は兵庫県障害者スポーツ協会、日本障害者カヌー協会は講師、スタッフ派遣で協力させて頂きました。午前はサポートスタッフ講習会、午後はカヌー体験を行いました。



2018  
2/18

パラマウントチャレンジカヌー  
in 岐阜

岐阜県福祉友愛プールで「パラマウントチャレンジカヌー in 岐阜」が開催されました。参加者34名、協会会員やサポーターの方がいろんなカヌーを揃えてくださり、参加者は色々なカヌーを体験する事ができました。次は長良川でのカヌーのチャレンジが広がる事を楽しみにしています。



2018  
3/2~4

パラカヌー強化合宿

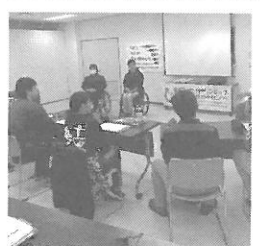
府中湖カヌー競技場で、パラカヌー強化合宿が行われました。参加選手9名、新人体験選手3名で晴天の中みっちり3日間練習しました。多くの報道関係の取材もあり、パラカヌーの知名度の広がりを感じる3日間でした。



2018  
3/11・12

第1回パラカヌークラス分け  
委員養成講習会

第1回パラカヌークラス分け委員養成講習会が行われました。パラカヌーにおけるクラス分けの仕組みを理解してもらう本格的な講義と、参加者による意見交流が行われました。3月に行われた海外派遣選考会では、本講習会を受講された委員によるクラス分け選考が行われました。日本におけるパラカヌークラス分け委員制度を作る第一歩です。





2017年10月20日、第2回アジアパラカヌー選手権がタイのパタヤ市で開催されました。日本から瀬立モニカ選手、辰己博実選手、加治良美選手、諏訪正晃選手が参加し全員メダルを獲得しました。



**2018パラカヌー海外派遣選手選考会**

2018年3月31日香川県府中湖カヌー競技場で「2018年パラカヌー海外派遣選手選考会」が開催されました。

リザルトは下記、7人の選手が海外派遣選手に選出されました。選出された7人はハンガリーで行われるワールドカップ第1戦に派遣されます。

また今回の大会はボランティアスタッフとして日本モーターボート選手会香川支部の選手らが参加しサポートを行って下さいました。他団体からのボランティアは初めてで、パラスポーツの理解とサポートを目的に実施されました。

パラカヌー男子 KL1 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	高木 裕太	イフニオテクノロジーズ(株)	01:06.829
2	小川 剛矢	岐阜県カヌー協会パラ部	01:32.930
3	田村 亮	岐阜県カヌー協会パラ部	01:51.020

パラカヌー女子 WKL1 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	瀬立 モニカ	江東区カヌー協会	01:04.042

パラカヌー男子 KL2 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	辰己 博実	北海道パラカヌー協会	00:51.333
2	加藤 隆典	岐阜県カヌー協会パラ部	01:02.318
3	山田 隼平	パナニック吉備(株)	01:07.613
4	森島 英樹	兵庫県カヌー協会	01:40.166

パラカヌー女子 WKL2 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	加治 良美	岐阜県カヌー協会パラ部	01:01.998
2	増田 汐里	江東区カヌー協会	01:35.926

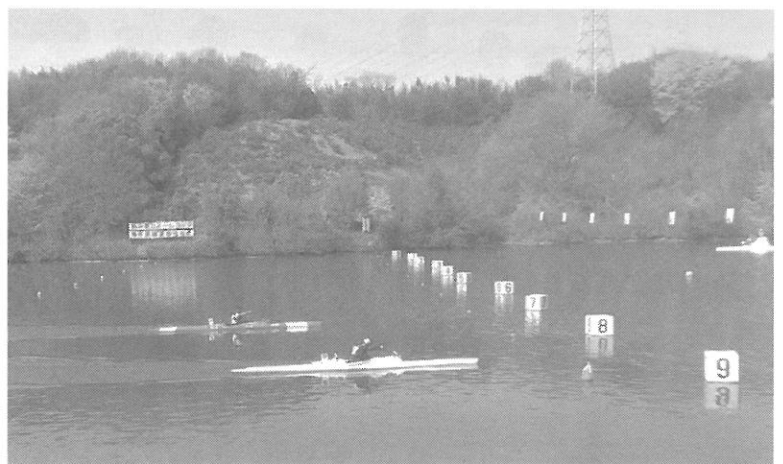
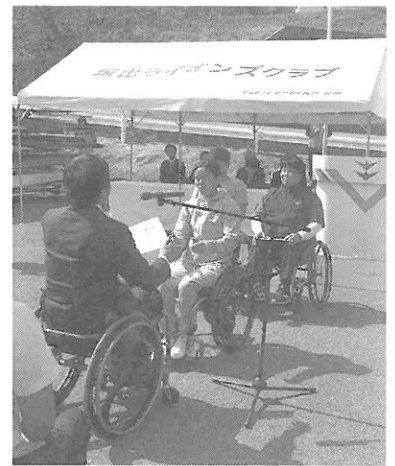
パラカヌー男子 VL2 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	辰己 博実	北海道パラカヌー協会	01:04.954
2	諏訪 正晃	江東区カヌー協会	01:06.623
3	加藤 隆典	岐阜県カヌー協会パラ部	01:17.653

パラカヌー男子 VL3 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	濱田 美穂	江東区カヌー協会	01:06.204

パラカヌー男子 KL3 200m			
順位	氏名	所属	タイム
1	小山 真	埼玉県カヌー協会	00:56.163
2	我妻 進之	北海道カヌー協会	01:40.689



# SHIGA

## 今年も びわこレインボーカヌーに 参加しました!

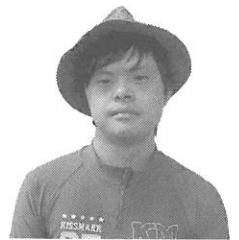


2017年9月24日、びわこレインボーカヌー(以下レインボーカヌー)が琵琶湖近江八幡休暇村で開催されました。今回は中村恵以子さん、亮太さん親子からリポート頂きました。



びわこレインボーカヌー 参加者  
**中村 恵以子**

初めまして。びわこレインボーカヌーの参加者の中村です。息子の亮太は22歳社会人。ダウン症です。今は障害福祉サービス事業所(作業所)に通所して仕事をしてます。レインボーカヌーを知ったきっかけは、高部一年の時、当時通学していた特別支援学校に置いてあったチラシをたまたま目にし、体験させてみたいと思って申し込みました。それからずっと参加させていたでいます。年に一度とはいえず、毎年参加していると段々漕ぐのもうまくなり、岸の近くで波や風が強くなければ、案外自由にカヌーを操れるようになってきて、自分なりの楽しみ方を見つけたようです。そんな今回のカヌーについて本人が感想を書きました。



びわこレインボーカヌー 参加者  
**中村 亮太**

9月24日日曜日に近江八幡の宮が浜に行きました。駐車場が集まってカヌーを運んで準備をしました。重かったけど頑張っではこびました。朝の会で自己紹介をしました。今回は、去年よりも人数が多かったです。午前中は、ゆっくりと景色を見ながら漕ぎました。遠くに行きました。お茶を飲みながらいい景色を眺めました。いい気持ちでした。  
昼ごはんを済ませてから、またカヌーに乗りました。鳥居の所へ行く姿を見て、ついで行こうと思ったから遠くに行ってしまうってけっこう深かったので急に怖くなりました。そこにレスキューの人が助けに来てくれました。2人が助けに来てくれて「ゆっくりと戻りましょうか」と言ってくれて一緒に戻って



れました。来てくれて安心しました。途中で落ちそうになりかけたけど、何とか耐えできました。よかったです。楽しい一日でした。  
最後に、皆で記念撮影をして皆で片付け、駐車場までカヌーを運びました。最後まで頑張りました。  
今年のレインボーカヌーは、いい天気でしたが荒れなくてよかったです。いっぱい日焼けしました。一番うれしかったのは、沖の方まで漕ぐのが上手くなって遠くに行けた事です。また来年も楽しみにしています。

# SHIZUOKA



## 新しい力を与えてくれた パラカヌーと仲間へ感謝

2017年6月25日静岡県掛川市のB&G掛川海洋センターでパラマウントチャレンジカヌー in 静岡が開催されました。この場所でのパラカヌーが行われるのは初めて、新聞の取材もありました。今回初めてカヌーに乗られた繁田一紀さんからのレポートをお送りします。



静岡パラ参加者  
繁田一紀

パラカヌーの事を始めて知った時、自分は脊椎損傷、下肢(左足)切断、昨年股関節を人口股関節に置き換えまだ治療とリハビリ中でしたが股関節も安定してきて主治医からの許可と理学療法士の説明もあり、いざパラカヌーに挑戦してみました。

当日始めて見るカヌー、パドル、ライフジャケットに心がザワザワしながらスタッフの力を借りて、いざカヌーに乗船。今まで車椅子、杖が自分の体を動かす為、生活の為に制約に繋がれた生活手段でしたが、カヌーの座席はへりコプターの操縦席の様に感じて水の面に滑り出すと地面と違ったことのない空に居るような浮力と言う自由な感覚が体全体の神経まで走りまわりました。

水の上で一緒に行動してくれる

スタッフにカヌーの取扱を聞き漕ぎ方やバランス姿勢を補助してもらい、いざチャレンジ最初の一漕ぎでカヌーは滑るように音もなく進むと感覚も視覚も心も全てが新世界に入っ

て行きました。

回りを見るとカヌーに乗る人は上半身しか出でなくて、吉田会長がカヌーに乗る時に「水の上では、障がい者も健常者も同じだよ」と言われた言葉がとても強く感じられ、勇気付けられる言葉になりました。この後は障がいも忘れて水と池の自然と風との一体感と楽しさを味わえました。

暫くして慣れてくると障がいも忘れてもっと早く進みたいもっと素早く旋回したいと今まで体が諦めていた機動力を心が求めてきました。

障がいを忘れるほどの視野と感性を感じる水の上での楽しい時間は、あつという間に過ぎてしまい、障がいの者のカヌーの動きに健常者スタッフは、笑顔で見守り、寄り添ってくれました。

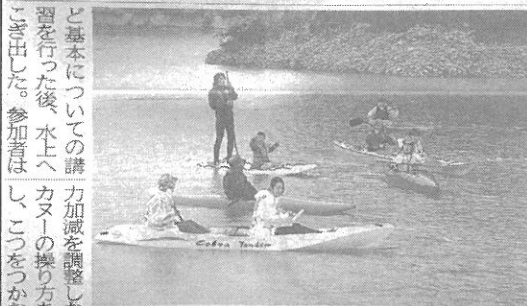
忘れていた力を思い出させてくれたパラカヌーとスタッフに感謝して1日を終えることが出来ました。

障害者カヌー体験  
掛川  
日本障害者カヌー協会(吉田義朗会長)は25日、カヌー競技の楽しさを知ってもらう体験会「パラマウントチャレンジカヌー」を掛川市の市B&G海洋センターで開催した。約20人が参加し、下肢などに障害がある人もカヌーに乗り込んだ。

同協会は、関西地方を中心に障害者も楽しめるカヌー体験会を開催している。この日はパドルのこぎ方を

日本障害者カヌー協会(吉田義朗会長)は25日、カヌー競技の楽しさを知ってもらう体験会「パラマウントチャレンジカヌー」を掛川市の市B&G海洋センターで開催した。約20人が参加し、下肢などに障害がある人もカヌーに乗り込んだ。

同協会は、関西地方を中心に障害者も楽しめるカヌー体験会を開催している。この日はパドルのこぎ方を



カヌー体験を楽しむ参加者  
=25日午後、掛川市の市B&G海洋センター

2017年6月26日  
静岡新聞掲載

「レーなどにも挑戦した。吉田会長は「車椅子で生活している人も水の上ではすいすいと自由に動けるのが魅力。これからの体験会を展開するので、大勢の皆さんとカヌーを楽しみたい」と話した。

# イベントカレンダー

詳細、更新情報は協会HP  
イベントカレンダーをご覧ください



開催日	イベント名	開催地
5月26日(土)	石川県木場潟パラカヌー全国大会	石川県
6月16日(土)、17日(日)	第15回大阪パラマウントチャレンジカヌー	大阪府
6月24日(日)	パラマウントチャレンジカップ in 名古屋	名古屋
7月8日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 京都	京都府
7月15日(日)	誰でも楽しもう霞ヶ浦 海の日大会	茨城県
8月3日(金)、4日(土)、5日(日)	パラカヌー強化育成合宿	石川県
8月11日(土)、12日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 愛媛	愛媛県
8月17日(金)~27日(月)	パラカヌー世界選手権大会	ポルトガル
9月6日(土)~10日(月)	日本パラカヌー選手権大会	石川県
9月8日(土)~9日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 奈良	奈良県
9月16日(日)	びわこレインボーカヌー(たんぼぼの会)	滋賀県
9月23日(日)、24日(月)	パラマウントチャレンジカヌー in 山形	山形県
9月30日(日)	チャレまる(パラマウントチャレンジカヌー in 円山川)	兵庫県
10月14日(日)	誰でも楽しもう霞ヶ浦 体育の日大会	茨城県
11月1日(木)~4日(日)	長良川長距離大会 兼 育成強化合宿	岐阜県

## 会員更新手続きのお願い

会員の皆様、毎年4月は会員資格の更新月になっております。下記会費振り込み先に、更新会費2000円の振り込みをお願いいたします。

〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会

〈口座番号〉 01020-7-12908

※他金融機関からの振込口座番号 一〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座0012908

会員募集の詳細は  
協会HP会員募集ページ  
をご覧ください



## (一社)日本障害者カヌー協会 から会員募集のお知らせ

(一社)日本障害者カヌー協会では、一人でも多くの方に、協会に協力いただきたいと願っています。会員になる資格は特にありません。障害の有無は関係ありません。協会主旨に賛同いただければどなたでもOK。入会にあたっては、協会事務局までご連絡ください。折り返し申込書を送付させていただきますので、年会費2千円をお振込みください。

事務局  
連絡先

〒107-0052  
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階  
(一社)日本障害者カヌー協会  
電話 03-6229-5440

編集人

〒630-0201 奈良県生駒市小町493-17 吉田義朗 方

会費  
振込先

\*郵便振替です  
〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会  
〈口座番号〉 01020-7-12908  
※他金融機関からの振込口座番号  
一〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座0012908

ホームページ: <http://www.japan-paracha.org/>  
協会へのご連絡、お問合せは、ホームページの「協会への問合せ」からお願いします。



カヌーが楽しいのは、一人で行くところを決められるから。そこに努力できるから。努力は楽しい。カヌーシーズンを待っています!  
(さいとー)

パラマウントチャレンジカヌーの季節が、いよいよ到来です。皆さんカレンダーに印を付けて下さいね!今年も皆さんの素敵な笑顔にお逢いできるのを楽しみにしています。会場でお待ちしておりますよ~!!  
(とほほのみやざき)

パラマウント通信が9年振りにリニューアルしました!今だからこそ紙で伝えられる事を大切に、これからも紙面づくり頑張ってください!今後も応援よろしく願いいたします。  
(マコト)

